

スチバーガ錠について

スチバーガ錠 (Stivarga tablets)

商品名：スチバーガ錠 40mg

成分名：レゴラフェニブ (Regorafenib)



□ スチバーガの内服開始にあたって

スチバーガは、がん細胞を減らしたり、増殖を抑えたりする薬（抗がん剤）です。

今後服薬を継続していく上で、この薬で出やすい副作用を理解しておくことは非常に大切です。

薬のことをよく理解し、上手に付き合っていきましょう。

何か異常を感じた際は我慢したり、ご自分の判断で中止したりせず、必ず医師・薬剤師にご相談ください。

□ がん細胞に対するスチバーガのはたらき

がん細胞は、細胞の成長や増殖を促す信号により、無限に増殖する性質を持っています。

がん細胞は活発に増え続けるために血管から酸素や栄養素を取り込む必要があるため、自ら周囲に新たな血管を作ったり、自分にとって都合の良い環境を作り出したりする能力を持っています（血管新生）。

スチバーガは、これらの能力に関わる様々な物質の働きを阻止することにより、がん細胞の増殖を抑える薬です。

□ 服用上の注意

・空腹時に内服すると、薬の吸収が十分に得られない可能性がありますので、食後に内服して下さい（医師の指示通り）。ただし、内服前に脂肪分の多すぎる食事を摂取すると薬が吸収されにくくなる可能性がありますのでご注意ください。

・毎日大体同じ時刻に内服してください。

・飲み合わせが問題となる薬がありますので、注意が必要です（例：リファンピシン、ケトコナゾール）。

・飲み忘れた場合はその分はとばし、次回1回分を内服してください。決して2回分を1度に飲まないでください。

□ 副作用

副作用は恐れるのではなく、理解を深めて、うまくコントロールすることが一番大切です！

比較的発現しやすい副作用

【手足症候群】… ひび割れする、発疹ができる、痒みができる、皮膚が乾燥する

・保湿クリームをやさしく塗り、乾燥を防ぎましょう。市販のものでも構いません。

・足に負担がかかると症状が出やすいので、靴は柔らかい素材で窮屈でないスニーカーなどを履きましょう。

・血洗いや洗濯をする際は、洗剤などの化学物質との接触を避けるため、ゴム手袋を着用しましょう。

【下痢】

下痢がひどい時は脱水を避けるため、水分を多めに摂りましょう。症状によっては下痢止めを内服します。

【高血圧】… 血圧が普段より高くなる、めまいがする

薬を飲んでいくうちに、血圧が高くなることがあります。

ご自宅で毎日血圧測定を行いその値を記録しておき、変化があれば診察の際主治医にみせるのが良いでしょう。

状態によっては血圧を下げる薬を内服していきます。

その他

・発声障害（声がかすれる、声が変わる）、食欲不振、だるさ など

□ 保管上の注意

・直射日光を避け、室温で保管してください。

・妊婦が誤って飲むと胎児に奇形が生じる恐れがあります。

他の人が誤って飲むことがないように、注意してください。

ご不明な点につきましては御気軽にお尋ねください。わたしたちがサポートします。

静岡市立清水病院 薬剤部 電話番号 054 - 336 - 1111（代表）

《 医療機関の方へ がん薬物療法に関するご説明・同意取得済みです 》